



「下村満子の生き方塾」ニュース

【号外】2019.05

—Ⅸ期修了・Ⅹ期入塾式速報—



節目のⅩ期にさらなる飛躍誓う

—東京・鳩山会館に集う



肩を組んで「ふるさと」を合唱し、今期1年の飛躍に決意を新たにする塾生たち

「下村満子の生き方塾」は2019年4月21日、東京・音羽の鳩山会館で、Ⅸ期修了式とⅩ期入塾式を開き、修了証書と皆勤賞の授与、新規入塾者の決意表明などを行い、節目となるⅩ期での精進を誓い合いました。Ⅹ期のスタートにあたって、下村塾長は「日本が危ない！世界が危ない！という時代にどう『生きるか？』」と題した記念講話を行い、濱田総一郎副塾長が『安楽への旅路』幸せとは、働くとは、人間とは』と題して応援団講義、鳩山友紀夫元首相が「徳のある政治を求めて」と題して特別講演をしました。交流パーティーでは下村塾長、鳩山夫妻、ゲストの方々を囲みながら意見を交わし、フィナーレには肩を組んで「ふるさと」を歌い、絆を深めました。講義の詳細は後日のニュースレターに掲載します。
(文責・皆川猛)

● 「一緒に、ど真剣に学ぼう」

司会は諸富英輔さんが担当。下村塾長の指導の下、山田晃嗣さんが点鐘して恒例の10分間をし、大野一彦さんがリードして塾生五訓を唱和しました。

続いて下村塾長が

『生き方塾』は東日本大震災と原発事故が起きた1ヵ月後の2011年4月16日、予定通り福島で開塾しました。東京—福島間の新幹線が、ようやく開通した2日後でした。開塾式の最中にも、たびたび大きな余震が起こり、会場のシャンデリアが激しく揺れ動く中で、136人の塾生が、一人一人、この塾で学ぶ「決意表明」の言葉を力強く述べました。その一言一言に、私も、そして、東京をはじめ県外からも駆けつけていただいた応援団の方々も、涙しました。



晴れの日司会を担当する諸富さん

絶望的な悲劇の中で、この塾を予定通り立ち上げることができたのは、今思えば、奇跡だったと思います。何か、大きな天の意志に突き動かされていたような気がしてなりません。3年でできればいいなと思っていました。今日、こうしてX期という節目の入塾式を迎えることができ大変うれしい。一緒に、ど真剣に学びましょう」と、式辞を述べました。



節目のX期を、共に頑張りましょう、と塾長



塾長から今回も提供された豪華副賞

学んだことを社会に還元したい

● 皆勤賞は10人

修了証書は大野さんと三浦由紀子が総代で授与され、2人は「しっかり学んで、塾生五訓にあるように、学んだことを社会に還元していきたい」と挨拶しました。続いて、皆勤賞10人と準皆勤賞の2人に賞状、記念の賞品贈られました。皆勤賞は男性が皆川猛、大野一彦、林田宗士、坂本祐一さんの4人、女性は伊東優子、三浦由紀子、常松景子、佐々木慶子、篠原陽子、諸泉佳那子さんの6人、準皆勤賞は亀井愛美、渡辺薫人さんでした。



修了証書を授与される男性総代の大野さん



女性総代の三浦さん

● 新入塾者が決意披露



決意を披露する山下さん

入塾したのは山下徹（株あつまる）北島一聖（同）、吉澤朋子（神奈川・自営業）さんの3人で、それぞれ次のように決意を表明しました。

山下さん 皆の前に立って話をするのは中学校の卒業式以来です。京都で長らく仏像を彫っていました。その時諸富さんと出会い、彼の生き方に共感して「あ

つまる」に入り、この塾に入った次第です。仏の教えを基にしっかり学びたいと思います。

北島さん 「あつまる」に入社して1年4カ月経ちました。

20代後半、生き方に悩み盛和塾で学んでいます。考え方一つで人生は大きく変わることを知りました。「生き方塾」でさらに学び、頑張りたいと思います。

吉澤さん 宝飾の卸や輸入・さまざまなプロジェクトを手掛ける自営業をしています。女性実業家らで構成される女性のための国際的な社会福祉団体ソロプチミストに所属しています。心を整理したいと思って入塾しました。自分がやるべきことを見つけたいと思います。

決意表明を受けて、小野浩喜さんが歓迎の言葉を述べ、X期の世話人を紹介しました。世話人は以下の通り。

【福島県内】 皆川猛（代表） 阿部洋子、安斎隆子、小野浩喜、佐々木慶子、佐藤歌子、常松景子、原田まり子、三浦由紀子（事務局次長）

【福島県外】 大野一彦、白鳥則生（代表） 飯島充実、石井陽介、杉村美智子、千田利雄、鉢村健、林田宗士、諸富英輔、山本亮二郎



皆勤賞の副賞を選ぶようにと指示される坂本さん



北島さん



吉澤さん

● 塾長記念講話「日本が危ない！世界が危ない！という時代にどう『生きるか？』」

世界の屋台骨、土台がガタつく今の世界

下村塾長の「日本が危ない！世界が危ない！という時代にどう『生きるか？』」と題した記念講話の骨子は次の通りです。

①アメリカのトランプ大統領は「アメリカファースト」を声高に叫び、他の国はどうなってもいいと訴えています。国際社会がこれまで営々と築いてきた秩序は台無しにし、対立の構図を作っています。

②イギリスは国民投票でEU脱退を決めたが、目先のことばかりを考えて投票した国民投票だから、依然脱退もできずに右往左往しています。西欧各国ではトランプのような自国最優先の大衆迎合の政党が台頭しています。

③日本が手本にしてきたこれら民主主義の先進国がこうした無様な現状をさらけ出しているように、今世界の民主主義は危機に直面しています。世界の屋台骨、土台がガタガタしているから、これまでの価値観、常識が大揺れしています。ところが日本のマスコミは世界で何が起きているかを扱いません。

④一方日本は、東大出の指導者たる人たちが自己保身、自分の利益確保のために平気で嘘をつき、国民も平気でいます。一億総思考停止状態です。

⑤世界がおかしくなっている原因の一つには資本主義の変質があります。世界のトップ8人の資産が36億人の資産と同額というのです。富の再配分が行われていないから、貧富の差は拡大する一方です。

⑥富裕層はもはや欲しいものがなく、欲しいものはいっぱいあるのに貧者はお金がなく、購入できません。これではモノ余りの経済低迷になるのは当然です。

⑦今世界では、ダブついたお金が途上国に流れ、高利で貸し付けています。世界の借金はGDPの2倍以



情報の洪水に流されるなど、塾長



健全な民主主義は危機に直面していると、塾長上にかさみ、いずれパンクするのは明らかです。日本も国債などの借金がGDPの二倍です。

⑧貧富の差の拡大は中産層をなくし、結果、健全な民主主義ではなく大衆迎合の衆愚政治になっています。日本も例外ではありません。

⑨そこで必要なのは富の再配分です。貧しい人にもお金が渡るようになれば、購買力が付いて消費は増えます。豊かになれば、中産層も増えて、社会には余裕と活力が生まれ、ものの考え方にも幅が生まれます。寛容な社会ができるのです。

⑩今は情報社会です。こうした中で中国ではビッグデータを基にして人間の点数化が進行しています。人間に点数をつけて、格付けするのはおかしな話ですが、この流れはきっと日本にも波及するでしょう。情報を知るのは大事ですが、情報に振り回されてはいけません。情報の洪水に流されてはいけません。

⑪人間の本質は太古と変わっていません。変わったのは人間を取り巻く環境だけです。仏の資質を持っている人間の本質から逸脱した「生き方」が際立っていますが、人間はたった一つの同じ命を共有していることを忘れてはいけません。同じ命を共有しているのだから、悪いことはできないはず。人間として正しい判断をして行動しましょう。

● 濱田副塾長応援団講義「『安楽への旅路』 幸せとは、働くとは、人間とは」

あとから来るもののために残そう

「『安楽への旅路』 幸せとは、働くとは、人間とは」と題して濱田副塾長の応援団講義骨子は次の通りです。

①実家の濱田酒造株式会社は、明治元年に創業した焼酎づくりの会社です。実際の創業はもっと早い時期です。父は対象11年生まれで京大を卒業後、陸軍に召集され中野学校に行きました。父の世代は3人に1人の割合で戦死しましたが、満州で終戦を迎えました。戦後は憲法を改正しなければいけない、と様々な活動をしていましたが、鹿児島に戻ってからは県議員などいろいろな公職をしました。

②そんな父は会社の利益を政治活動に使いましたから、経営はピンチに陥っていました。それで長男は大学を中退して家に戻り、家業を再建にあたりました。まずは借金を返さなくてはならず、次男の私、弟二人も家、に帰され、経営再建を手伝わされました。

③鹿児島県内だけで焼酎を売っていてもたかが知れているので、全国販売に乗り出しました。27年前に独立して、酒の大型専門店「パスポート」を立ち上げました。2003年9月に酒販免許が自由化されたので、翌04年4月に「酒



「敬天愛人」を肝に刻もうと
濱田副塾長

& 業務スーパー」業態を新コンセプトにする新生パスポートをスタートさせました。

④やがて地球温暖化対策が待ったなしであることに気づき、環境エネルギー事業に着手しました。尊敬している稲盛和夫京セラ名誉会長・盛和塾長に太陽子発電をしたいと相談したところ、「金儲

けを考えてやってはいけない。地球を守る信念があるならやれ」と助言を受け、自然エネルギーに取り組むようになりました。理念がイノベーションを生むのです。

⑤私の信念は「あとから来るもののために」です。後世のために、美しい環境を残さなければならないのです。そうした思いから北海道から九州まで、164メガワット（16万4千キロワット）の太陽光発電施設を作りました。

⑥当初、政府は太陽光発電を推進していたのですが、原発推進に舵を切り直したために、太陽光発電の電気を売ることでの収入確保は厳しくなっています。そこで間伐材を使うバイオマス発電など小型分散発電を行い、自家消費、地域消費に重点を置くスマートブリッド社会への転換を目指しています。

⑦今、地球上では人口構築物が飽和状態になり、既設の設備をできるだけ長く使うことが求められています。これは資源を後から来る人のためにも残すことになります。手掛けているのはポリウエアという素材を使って、コンクリートや発泡スチロール、樹脂製品の強度を増し、インフラの耐用年数を延ばす仕事です。

⑧ごみ処理も大きな課題ですが、特にプラスチックごみの投棄はもはや看過できない大問題になっています。2050年には海に棲む魚の量と海中の廃プラは同じ量になる予測です。私はこれらのごみの容量を90分の1にし、それをセラミックにする装置を開発しています。

⑨人間も飽和状態です。地球上の動物総重量の30%は人類、家畜は67%、野生は3%です。人間の欲望の結果、温

暖化は進み、北極の氷は2040年代には消滅し、南極の氷もやがては消えます。すると海面は60メートルも上昇しますから、東京は水没します。地球は毎日広島型原爆60個分のエネルギーを蓄積し、海がその90%を吸収しています。

⑩人間がすべきことは欲望を抑えて、自然の摂理にしたがって、身の丈に合った生き方をすることでしょう。友愛精神こそ、人類を救う思想だと思います。人類には今以上の物質的進化は必要ありません。

⑪坐禅をすると、自分の中に仏性があることに気づきます。私は陽明学のベースとなっている良知という考えで、企業経営をしています。社是では掲げる「敬天愛人」という思想を、日々の事業活動で実践し、人々の永続的な幸せ社会を創造的に築いていくことが「良知経営」です。

⑫「敬天愛人」。この言葉に私たち人類が幸せに生きるための思想が凝縮されています。敬天愛人の心を持って、誰にも負けない努力をすれば、人生は必ず報われる。良知とは、人が生まれながらにもっている、是非・善悪を誤らない正しい知恵です。仏性と同義語です。良知に気づけば誰もが幸せになれる。

⑬いま最も必要なことは、絶対的なもの、人類に共通する普遍のものです。それは善です。これこそが平和に地空を守ります。人間は身、心、魂でできています。生存するために欲望は出ますし、本能、雑念も出ます。坐禅をすると、肉性意識、心性意識が弱まって宇宙の意思が入ってき



地球温暖化に警鐘を鳴らす濱田副塾長

て、心が治まります。

⑭最後に私が詠んだ「良知颯爽」を紹介します。《この世に起こる全ての姿は 天意のはたらき 人生は修行の旅魂を磨くためにこの世に生まれ 終わればおおいなる生命に帰るのみ 修行とは 無新極楽の世界にいのちを燃やすこと いのちは良知の充実によってのみ その持てる力を 顕現する 良知颯爽として 今日一日を生きん》

● 鳩山元総理特別講義「徳のある政治を求めて」

このままでは日本は衆愚政治に陥る

「ようこそ我が家へ。家主としてお礼申し上げます」とユーモアたっぷり挨拶した鳩山さんは「徳のある政治を求めて」と題して特別講演をしました。その講演骨子は以下の通りです。

①ガンジーは7つの社会的罪を1925年に示しました。

それは㉑理念なき政治㉒労働なき富㉓良心なき快楽㉔人格なき学識㉕道徳なき商業㉖人間性なき科学㉗献身なき信仰です。ガンジーが指摘したこれらの罪は100年経った今まさに当てはまります。

②米国依存、盛加計（モリカケ）問題に象徴される嘘と

隠蔽の安倍政権の運営、忖度の行政など、現政権には政治哲学がありません。県民投票を無視する辺野古の埋め立てなど、数の暴力がまかり通っています。

③金儲け至上主義の行き過ぎた金融資本主義。社員より株主重視の経営によって貧富の差は拡大する一方で、労働なき富の集積が日本はもとより世界で蔓延しています。

④刹那的な快楽主義や、カジノ法案が成立したことによって、トランプの後ろ盾になっているカジノ資本が日本にも押し寄せてきます。良心なき快楽です。

⑤原発事故によって、福島県内では甲状腺がんが急増しているのに、自己と因果関係はないと強弁する医学者は人格なき学識と言えるでしょう。

⑥利益追求のために原発再稼働を推進し、遺伝子組み換え作物を推奨するなど、政官業の癒着は、道徳なき商業にほかなりません。

⑦核兵器開発、遺伝子操作は人間性のない科学です。

⑧修行のためではなく冠婚葬祭要員としての僧侶や牧師が宗教界の主流となっており、献身なき信仰です。

⑨日本に特化すると、日本の政治は米国依存の政治であり、それが日中関係、日口関係でも成果を上げられない原因になっています。日米合同委員会は日本国憲法より優位にあり、不幸にも戦争になった場合は、自衛隊はアメリカ軍の支配下に入ります。アメリカはいつでも、どこにでも基地を建設できる権利を持っています。

⑩日本は三権分立の国と教科書で教えられましたが、現状は行政のトップである首相官邸が一番の権力者です。三権分立はありません。国会審議は軽視され、裁判ですら、官邸を忖度しています。戦前のように全体主義化しようと



ガンジーの教えを基に講演する鳩山元総理

しています。

⑪徳を失った日本社会での民主主義は衆愚政治に陥る危険性が極めてあります。

⑫私が考える理想の政治は、美徳型です。美徳・善などの倫理的な発想を重視する思想、善き生と共に生きる共通善を根底に置く政治です。政治の目的は、コミュニティの共通善の実現にあります。

⑬美徳とは知恵と知識、勇気、愛・人間性、政治、節制、精神性・超越性であり、友愛とは美徳です。友愛は自由と平等の懸け橋であり、相互尊重、相互理解、相互扶助を目指します。

⑭共和主義は正義、美徳、卓越、友愛を重視して衆愚政治を回避し、共通善を実現する民主主義です。共和主義の政策によって、米国支配から脱却し、原発廃棄、東アジア共同体の実現、利他の精神に基づく相互扶助の経済、政治への積極的な参加が実現できればいいなと思っています。

愉快地楽しく交流パーティー 連帯深める



幸夫人も交流会に参加し会場を沸かせる



交流パーティーは若手を代表し曾田さんが司会



大野さんが乾杯の発声をして交流パーティーが始まる



精養軒の料理でパーティーは大盛り上がり



中締め挨拶をする飯島さんは今回もプレゼントを提供